

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求めることについて

要 旨

医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどにより、医療現場の労働環境はかつてなく過酷となり、人手不足が深刻化している。安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るため、看護師など夜勤交替制労働者の労働条件の改善、医療・社会保障予算を先進国並みに増やすこと、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと等の実現を求める。

理 由

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策の下でも、医師、看護師などの懸命な努力で支えられてきました。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足になっています。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師等の不足が深刻化しています。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが大切になっています。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度が求められています。

以上の趣旨から、看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るため、下記事項につき、地方自治法99条に基づく国に対する意見書を決議していただけるよう陳情いたします。

陳情項目

1. ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
2. 医療、社会保障予算を先進国(OECD)並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
3. 国民(患者・利用者)の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

平成22年10月15日

陳 情 者 秋田市中通6丁目2-1  
秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 中 村 秀 也

大仙市議会議長 児 玉 裕 一 様